

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

皆さんは「認知症」を正しく理解していますか。

本市では、認知症を正しく理解し、本人やその家族を支援する「認知症サポーター」の養成を進めています。そこで今月1日、「さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター」を中央区にオープンしました。センターでは、認知症に関する様々な情報発信や、認知症サポーター養成講座の開催などによる人材育成を進めていきます。そして、地域住民や企業による活動や交流促進を支援するための相談窓口を開設しました。ぜひお気軽にお問合せください。

認知症の方やその家族の方が地域で安心して生活し、誰もが希望を持って暮らすことのできる地域社会の実現をこれからも目指してまいります。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選
共栄大学 客員教授、指定都市市長会 副会長も務める

さいたま市の政策課題を政務三役へ！積極的に行動



盛山正仁 文部科学大臣と

35人学級実現のための教室の整備と教職員の確保、義務教育施設等の改修等の促進、学校における指導・運営体制の強化・充実等について、盛山正仁文部科学大臣へ要望を行いました。

また、堂故茂国土交通副大臣には、核都市広域幹線道路の計画の具体化、防災・減災、国土強靱化の推進に係る予算確保について、要望活動を実施しました。

ご両名には熱心に要望内容を聞いていただき、本市の現状や課題について、ご理解いただけたものと思っております。今後も、国会議員や関係省庁と密接に連携し、本市の施策の推進に努めてまいります。



堂故茂 国土交通副大臣と

インクルーシブスポーツに関する意見交換会

6月29日、パリ・パラリンピック開催を目前に控え、市議会議員と市職員有志、ボッチャ協会の皆さんによる「インクルーシブスポーツに関する意見交換会」へ参加しました。

